

平成28年度 事業計画

【目的】

障がいのある方に対し、個人の意向を尊重しながら、多様で総合的な援助を提供し、地域社会においても自立した生活を営むことができるよう支援することを目的とする。

【開所日】

月曜～金曜日 午前9時～午後4時 土・日・祭日は休日とする。

* 休日に行事が行われた場合は代休をとることがある。

休業日 8月10日(水)～17日(水)

12月28日(水)～翌年1月5日(木)

【NPO法人事業】

1) 障害者の日中支援事業

創作的活動

フラワーアレンジ・音楽・書道・パドル体操・パソコン

生産活動

クッキー作り・内職・マット編み

日中支援

外出 (散歩・買物・巡回バス利用・花見など)

親睦 (朝の会・帰りの会・誕生日会など)

生活訓練 (朝と帰りの清掃・手洗い・食器洗い・テーブルふき)

ゴミ分別・トイレ掃除・バスの利用法・入浴など)

健康診断 デイキャンプ クリスマス会 防災訓練 就労支援相談

2) リサイクルによる環境推進事業

生産活動

資源回収 (古新聞・古雑誌・アルミ缶)

生ごみを肥料に変えるEMボカシ作り活動 (製造・販売)

3) 地域との交流・共生を目指す事業

社会との交流活動

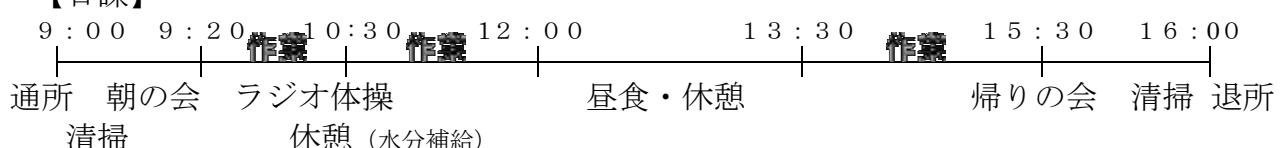
バザー (ひばりまつり・福祉まつり・各特別支援学校)

フレサよしみ喫茶コーナーにてクッキー販売依頼

荒川荘での販売依頼・施設体験実習受け入れ・施設見学受け入れ

人権フェスティバル作品展示

【日課】



趣味の講師	ボランティア	
書道 山田 孝子 先生	東松山むさしローテリークラブ	担当 中村 善博さん
フリーアレンジ 斎藤 真理子先生	野ざくの会	代表 新井 裕子さん
音楽 西村 佳子 先生	クッキー作り	石曾根 ヨシ さん
パドル体操 木村 悅子 先生		
パソコン 大久保 憲子(職員)		

平成 28 年度事業計画

事業実施の方針

障がいのある方の個人の意志を尊重しながら、多様で総合的な援助を提供し、地域社会で自立した生活を営めるよう支援する。

事業の実施に関する事項 (平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日)

NPO 事業 名	事 業 内 容	実施 日時	実施 場所	対象者 の範囲	
障 害 者 の 日 中 支 援 事 業	創作的活動	花に親しみ、作品を作りあげる フラワーアレンジ 心を落ち着かせ、集中力を高める 書道 歌や踊り演奏を楽しむ 音楽 体力作りと表現力をつける パドル体操 遊びながら親しむ パソコン	毎月 1 回 毎月 1 回 毎月 1 回 毎月 1 回 毎月 1 回	施設内 施設内 施設内 施設内 施設内	利用者 利用者 利用者 利用者 利用者
	生産活動	“サクサクッ”と美味しい クッキーを作る クッキーの販売 集中力・意欲を育てる内職 布の端切れを使いマット編み マットの販売	随時 随時 随時	施設内 施設内 施設内	利用者 近隣住民 利用者 利用者 近隣住民
	日 中 支 援	外出 散歩・買い物・巡回バス利用 お花見 親睦 朝の会・帰りの会・誕生日会 生活訓練 朝と帰りの清掃、手洗い 食器洗い・テーブル拭き トイレ清掃・通所支援・入浴 健康診断 デイキャンプ クリスマス会 防災訓練 就労支援相談	随時 毎日 毎日 毎日 毎日 毎日 毎日 8 月 12 月 随時	施設周辺 道の駅 施設内 施設内 施設内 各機関 施設内 施設内 施設内 施設内 施設内	利用者 利用者 利用者 利用者 利用者 利用者 利用者 利用者 利用者 利用者

NPO 事業 名	事 業 内 容		実施 日時	実施 場所	対象者 の範囲
リサイクルによる環境推進事業	生産活動	資源回収 (古新聞・古雑誌 アルミ缶)		隨時	吉見町 地区内
		生ごみを堆肥に変える E Mボカシの製造 E Mボカシの販売		隨時	利用者 吉見地区 住民
地域との交流、共生を目指す事業	社会との交流活動	催し物 ひばりまつり 模擬店 ゲームコーナー	5月14日	施設内 福祉会館内	利用者 出演者 ボランティア 来場者
		福祉まつり 授産品販売・バザー	11月3日	ふれあい 広場	吉見地区 住民
		吉見まつり 文化祭作品展示 (書道・手芸)	11月3日	フレサ よしみ	利用者
		特別支援学校 (実習受入れ・施設見学受入れ バザー販売)	隨時	各施設内	実習生 各特別支援学校 その他
		荒川荘での販売依頼	隨時	荒川荘	吉見町民
		フレサよしみ喫茶コーナーでの 販売依頼	隨時	フレサよし み	フレサよし み 来館者
		人権フェスティバル作品展示	11月	予定会場	来場者